

日本体育大学

令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	保健医療学部 整復医療学科 総合型選抜 学部別選考方式 I 期
科目	小論文

【出題の意図】

- ・ 地域における生涯スポーツの社会的意義について
高齢化の進行や健康寿命延伸の重要性を踏まえ、子どもから高齢者まで幅広い世代が継続的に運動に取り組む必要性と地域スポーツ支援の役割を正しく理解しているかを評価する。
- ・ 柔道整復師・アスレティックトレーナーとしての専門的役割について
スポーツ外傷・障害の予防、応急処置、治療、セルフケア指導など、両資格に求められる専門性を具体的な内容として示せるのかを評価する。
- ・ 多様な対象者へのアプローチと実現可能な活動計画について
成長期の選手への対応、高齢者の転倒予防、地域住民の健康づくりなど、対象者に応じた具体的かつ現実的な支援方法を構想し、実行可能な視点を持っているかを評価する。
- ・ 地域連携の意識と継続的な専門職として貢献する姿勢について
医療機関、学校、地域スポーツ団体、行政との協力体制を意識し、コミュニケーション能力や生涯学習、地域に貢献する専門職としての姿勢について評価する。

【模範解答】

私は、柔道整復師およびアスレティックトレーナーの資格を活かし、地域のスポーツ活動において「けがの予防と健康支援」を中心に貢献したい。まず、子どもから高齢者までが安全に運動へ参加できるよう、基礎的な筋力や柔軟性を高め、高齢者には転倒予防の観点からバランス感覚を向上させる。そのために、正しい歩行動作の獲得、体幹・四肢のトレーニング、運動前後のウォーミングアップやクールダウンなどスポーツ活動を行う上で必要な動作を指導する。これにより、外傷（スポーツ外傷・転倒）やスポーツ障害の発生を未然に抑え、継続的に運動できる身体づくりを支援する。

特に成長期のスポーツ選手には、オーバーユースによるスポーツ障害への配慮とセルフケアの重要性を伝え、競技力向上と健康維持の両立を図りたい。具体的には、けがが発生した場合にテーピングや固定などの応急処置を施すだけでなく、段階的な治療計画を策定し、復帰時期の判断、フォームの改善、再発予防までを一貫して支援する。また、高齢者を対象に転倒予防運動や関節の柔軟性や筋力を維持・向上するための健康体操教室を開催し、地域の健康寿命の延伸に寄与したい。

加えて、医療機関、学校、地域スポーツ団体、行政機関と連携し、けがの予防から復帰後のフォローまでをつなぐ地域スポーツ医療体制を構築する。私は、参加者一人ひとりの背景と目標を丁寧に聞き取り、積極的にコミュニケーションを取りながら、柔道整復師・アスレティックトレーナーとしての専門知識と技術を地域に還元する。さらに、最新の知見を継続的に学び、実践に反映させることで、地域とともに成長し、誰もが安心して運動を楽しめる環境づくりに貢献したい。